

I 基本目標

次世代につなぐ みんなにやさしいまち
「ふるさと みどり」

緑区は豊かな自然の中で、地域の皆さまの温かい「つながり」が息づく、みんなにやさしい魅力あふれるまちです。これは、区民の皆さまの継続した活動により大切に育まれてきたものです。

昨年からのコロナ禍は、今までの活動のあり方を大きく変えるものとなりました。

令和3年度は、この魅力あふれるまちを次世代に引き継いでいくために、感染症対策の強化と社会・経済活動の再生の両立に向け様々な施策に取り組み、「新たな日常」のもと、区民の皆さまが安心して活動し、安全で住み続けたいと思えるみんなにやさしいまち「ふるさと みどり」を目指します。



緑区キャラクター
「ミドリ」

II 目標達成に向けた施策

1 安全・安心なまち

新型コロナウイルス感染症予防対策のさらなる強化とワクチン接種を進めます。また、「新しい生活様式」での様々な地域活動を支援します。自助・共助による防災・減災、防火・防犯等、地域の特性に応じた区民の皆さまの主体的な取組を支援するなど災害に強いまちづくりを進めます。

区民生活に身近な道路の交通安全や食の安全、ペットの適正飼育啓発など、暮らしの安全対策に取り組みます。

2 いきいき暮らせるまち

子どもたちや子育て中の方、高齢者、障害者、外国人の方々や生活にお困りの方など、誰もが安心して暮らし続けられる、共に支え合うつながりのあるまちづくりを進めます。また、健康づくりや健康寿命の延伸に向けた取組を推進します。身近な区役所として基本的な行政サービスに適正・迅速・丁寧に取り組み、信頼される窓口サービスを目指します。

3 みどりの魅力あふれるまち

緑区独自の魅力である都市農業の振興や歴史的資源などを広く発信するとともに、関係局と連携しながら商店街振興や芸術・文化・スポーツ活動を促進します。また、花植えや植樹、清掃活動など地域の良好な環境づくりを進めます。地域の課題解決に向け、自主的な活動やその担い手の育成、ICTを活用した地域活動の取組を支援します。

III 目標達成に向けた組織運営

●適正・迅速・丁寧に取り組みます

信頼される区役所を目指し、一人ひとりに寄り添い、わかりやすいご案内を心がけるとともに証明書等の発行、各種相談・支援等、基本的な行政サービスに適正、迅速かつ丁寧に取り組みます。また、区民の皆さまの声を真摯に受け止め、ニーズを把握して区政・市政への反映に努めます。

●地域との協働・共創を進めます

自治会や関係団体、企業、大学、NPOなど様々な担い手と協働・共創の意識を持ち、新たな施策・事業の展開につなげます。

全ての区役所職員が一丸となって、多様化する地域の課題や要望を受け止め、地域の自主的な課題解決を支援します。また、常に持続可能な社会を創る視点で業務に取り組みます。

●チーム力・職員力を高めます

地域課題や組織運営上の課題を自ら発見し、職員同士が連携して解決に向けて取り組みます。情報や課題を共有し、チーム力を最大限発揮できる環境づくりと人材育成に取り組みます。



1 安全・安心なまち



①新型コロナウイルス感染症対策

感染症対策のさらなる強化を図るとともに、新しい生活様式下での地域・経済活動を支援します。

- ・感染症予防対策物品等の購入
- ・区民が着実にワクチン接種が受けられるための体制及び会場の確保
- ・商店街・中小企業等への支援策に係る情報提供

②地域防災・減災の強化

防災ネットワークや関係機関との連携強化、啓発・研修等を通じて、コロナ対策を踏まえた災害に強いまちづくりを区民と協働して推進します。

- ・避難場所における感染症対策の充実
- ・小学生向け「区役所の災害対策」DVDの制作

③安全・安心な環境づくり

自治会、緑警察署等と連携し、地域での自主的な防犯活動推進への情報提供・活動支援を行います。また、道路などの適切な維持管理に努めるとともに、スクールゾーン対策協議会等と連携し、交通安全対策を推進します。

- ・生活道路等の交通安全対策実施【新規】

④暮らしの衛生の推進

食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しいかかわり方、また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について、周知・啓発を図ります。

- ・子ども向けイベント等における子どもを対象とした啓発の実施【新規】
- ・地域防災拠点への衛生対策支援の実施

2 いきいき暮らせるまち



①「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進

身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、コロナ禍でもつながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と連携し、第4期緑区地域福祉保健計画を策定・推進します。

- ・区計画推進策定委員会、地区別計画推進策定委員会及び連絡会の実施
- ・第4期計画策定に係る啓発講演会の開催

②あんしん子育て支援の充実

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行います。あわせて地域の子育て支援活動や区内保育施設とネットワークの構築を進め、保育の質の向上を図ります。また、小学生の放課後の居場所づくりを進めます。

- ・プレパパ・プレママ教室、赤ちゃん教室の実施
- ・区Webページ「みどりっこひろば」などによる子育て支援情報の発信
- ・みどりっこまつりの実施

③地域における青少年の育成

次世代を担う青少年の育成に向け、関係団体との連携や取組支援を進めます。また、子どもたちがまちづくりに携わる楽しさを知るきっかけをつくるための取組を行います。

- ・区民まつりにおける小中学校のボランティア体験
- ・子どものまちづくりイベントの実施

④高齢者・障害者施策の推進

住み慣れた地域で医療、介護等が切れ目なく提供できるよう、地域包括ケアシステムの構築を図ります。障害者の社会参加や生きがいづくりの場の充実、区民の障害理解を促進します。

- ・地域包括ケア構築に向けた行動指針の改定
- ・障害者向け成年後見制度案内リーフレットの作成【新規】

⑤多文化共生の推進

多様な言語・文化・価値観をお互いが認め合い、協働で創造的な活動に取り組むことができる環境を目指します。

- ・多文化共生社会の拠点としての国際交流ラウンジの運営【新規】

⑥生涯にわたる健康づくりの推進

区民の皆さまの生涯にわたる健康づくり、健康寿命の延伸に向けた取組を、福祉・保健に関連する団体等と協働で行います。

- ・食育の日キャンペーン

⑦暮らしのなかのセーフティネット

ひとり暮らし高齢者等への地域の見守り活動の推進、生活にお困りの方への自立に向けての支援、相談窓口の周知など制度理解を進めます。

- ・民生委員・児童委員によるひとり暮らしの高齢者等への支援
- ・生活にお困りの方への就職及び家計改善に向けた支援の実施
- ・法律相談、司法書士相談等の専門家への相談、女性の福祉やひきこもり等に関する相談の実施

⑧信頼される窓口サービス

個人情報保護を徹底するとともに、区民の皆さま一人ひとりに寄り添いながら、わかりやすいご案内を心がけるなど、基本的な行政サービスの向上に努めます。また、区民生活に関わりの深い戸籍・住民登録・税金・保険年金等の各種制度を適切に運用します。

- ・マイナンバーカードの確実な交付をはじめ個人情報の適正な管理
- ・窓口間連携によるわかりやすいご案内
- ・快適な窓口環境の整備

3 みどりの魅力あふれるまち



①自然、歴史、商店街など、みどりの魅力を活かした地域活性化

自然、歴史などの地域資源や顔の見える地域に根差した商店街の魅力など、緑区らしさをPRします。

- ・区庁舎内直売所の実施、「農」の魅力動画配信、地産地消講座の実施
- ・緑区商店街ポイントラリー、7商店街の魅力発信ポスター掲示
- ・アートによる緑区の魅力発信事業
- ・緑区遺産や写真による区の魅力発信

②スポーツを通じた地域づくり

東京2020オリンピック・パラリンピック開催の機を活かし、区民がスポーツに親しむ環境づくりを進め、多様性ある社会の実現を目指します。

- ・みどりスポーツ振興事業、スポーツフェスティバルの実施

③区民による文化活動の振興

市の文化発信事業とも連携し、身近な地域で良質な芸術文化に触れられるよう活動支援を実施します。

- ・緑・芸術祭イベントの実施・支援
- ・オリンピック・パラリンピック応援事業としてArt Trainの実施(県立白山高校と連携)【新規】

④環境行動の推進

3R夢プラン・脱温暖化に区民と協働で取り組むとともに、道路沿道等への花植えや植樹、清掃活動などにより地域と協働した良好な環境づくりを進めます。

- ・フードドライブの推進【拡充】
- ・環境講演会の実施
- ・環状4号線などの街路樹の更新・補植
- ・花と緑のサポーター養成講座の開催
- ・若者を中心とした区民と行政の協働による美化活動【新規】

⑤地域の現状を踏まえたまちづくり

地域住民主体のまちづくり支援を実施します。

- ・住民主体のまちづくりの支援、専門家の派遣
- ・山下地域交流センター活用等検討
- ・住民・事業者等によるエリアマネジメント活動への支援、連携及び協働の推進(持続可能な住宅地推進プロジェクト・十日市場町周辺地域)

⑥ICT等を活用した地域力の推進と市民活動の支援

地域の課題解決や魅力づくりに向けICTを活用しながら、自主的活動への支援・地域活動担い手の育成・新しいつながりづくりの創出に向け、Web会議による講座の開催等を支援します。また、子どもから大人まで多くの方が本を身近に感じ、読書を通じて豊かな心を育めるよう、読書活動を推進します。

- ・公益的活動に対する補助金事業としての緑区地域課題チャレンジ提案事業
- ・自治会未加入世帯への加入促進策の実施
- ・青少年向け読書啓発事業【新規】

「SDGs(イフ ィー ゴー ルズ)」は「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で「誰一人取り残さない」を基本理念とする、国連サミットで採択された国際目標です。17のゴール(目標)は世界の都市に共通した普遍的なものであり、緑区においてもSDGsの基本理念を意識し、あらゆる施策に取り組んで参ります。



緑区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

参考：SDGsの17の目標



1 貧困をなくそう
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



10 人や国の不平等をなくそう
各国内及び各国間の不平等を是正する



2 飢餓をゼロに
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



11 住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する



3 すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



12 つくる責任 つかう責任
持続可能な生産消費形態を確保する



4 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



13 気候変動に具体的な対策を
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



5 ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う



14 海の豊かさを守ろう
持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



6 安全な水とトイレを世界中に
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



15 陸の豊かさも守ろう
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



16 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



8 働きがいも経済成長も
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



17 パートナリシップで目標を達成しよう
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



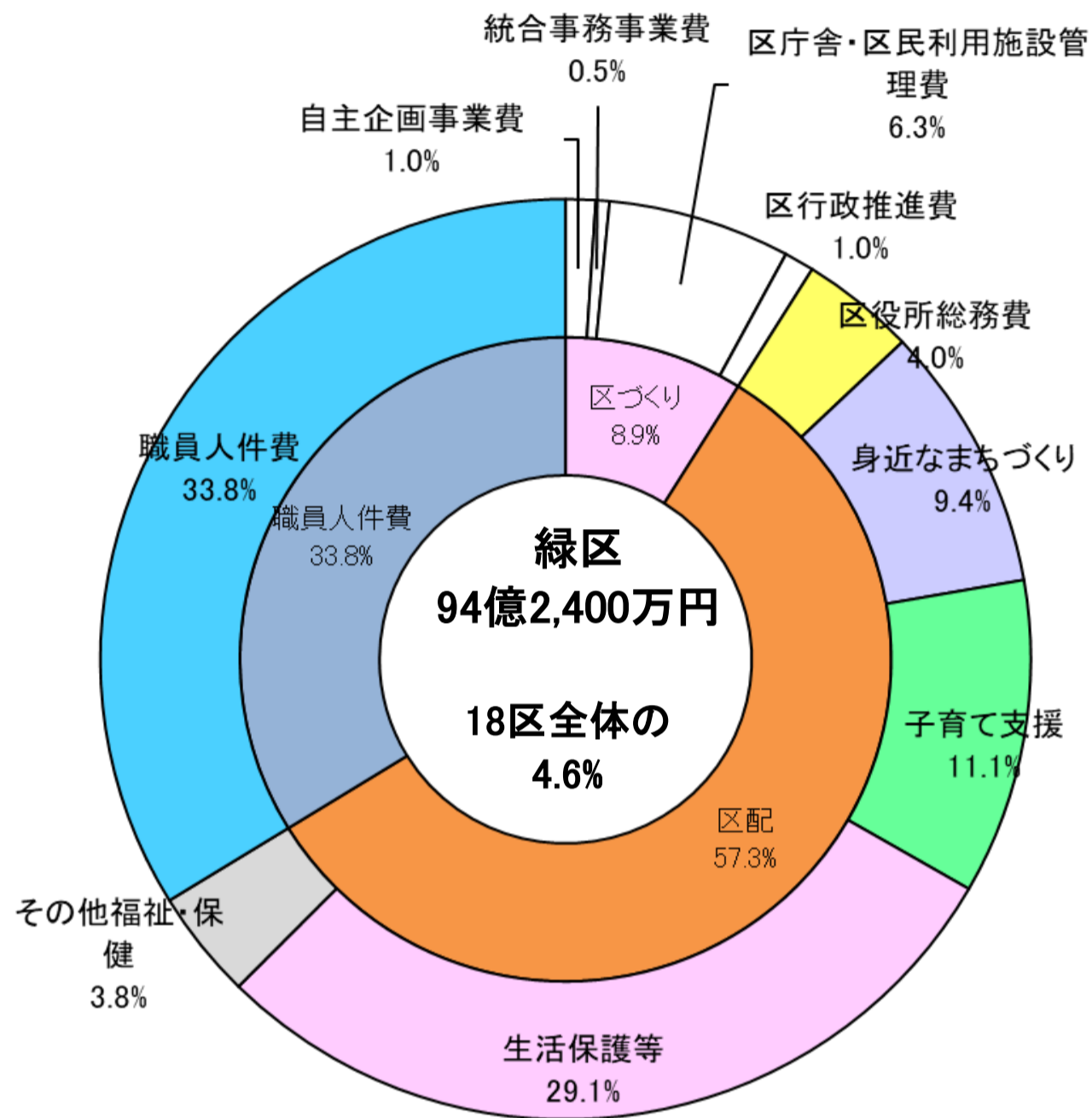
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



緑 区に係る予算のすがた (令和3年度一般会計当初予算)

横浜市の一般会計の当初予算は **2兆72億6,100万円**です。

緑区の予算は **94億2,400万円**となっており、18区全体の予算 2,061億1,500万円の **4.6%**を占めています。



(単位:百万円)

	予 算	割 合
個性ある区づくり推進費	838	8.9%
自主企画事業費	98	1.0%
統合事務事業費	44	0.5%
区庁舎・区民利用施設管理費	598	6.3%
区行政推進費	98	1.0%
区配付予算	5,403	57.3%
区役所総務費	376	4.0%
身近なまちづくり	881	9.4%
子育て支援	1,043	11.1%
生活保護等	2,743	29.1%
その他福祉・保健	359	3.8%
人件費	3,183	33.8%
合 計	9,424	100.0%

注:各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	R3予算	R2予算	差引	説明
個性ある区づくり推進費	838	827	11	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	98	98	0	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	44	44	0	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	598	580	17	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区行政推進費	98	104	-6	区役所の会計年度任用職員人件費や区役所との連絡調整等に係る経費です。
区配付予算	5,403	5,112	291	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	376	354	22	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	61	63	-2	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	13	13	0	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	7	81	-74	各種統計調査を行うための経費です。
その他	296	198	98	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	881	872	9	(土木事務所が執行する予算です。)*下水道事業を含む 1,012 百万円
道路修繕費等	647	633	14	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	63	65	-2	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(131)	(101)	29	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	171	175	-4	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	1,043	984	59	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
市立保育所運営	401	346	54	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費です。
放課後児童健全育成	435	440	-5	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金などです。
その他	208	197	10	小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給などを行います。
生活保護等	2,743	2,585	157	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	2,613	2,563	50	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。(対象世帯2,120世帯:令和3年3月時点)
生活困窮者自立支援	129	22	107	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	359	315	44	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	140	132	8	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	27	26	0	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	193	157	36	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
人件費	3,183	3,106	77	
職員人件費	3,183	3,106	77	総務局人事部労務課公表「令和3年度職員人件費予算の目安」より
合 計	9,424	9,045	379	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 9,555 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)

令和 3 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

緑 区



令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業一覧

[単位:千円]

No.	事業名	新規重点	R03予算	R02予算	増△減	所管課	ページ
① 安全・安心なまち			17,407	13,972	3,435		
1	災害に強いまちづくり事業	重点・拡充	7,867	7,567	300	総務課・福祉保健課	3
2	安全・安心まちづくり推進事業		1,820	1,967	△ 147	地域振興課	4
3	交通安全対策事業		3,554	2,802	752	地域振興課	4
4	交通安全施設等整備事業	新規	2,500	0	2,500	土木事務所	5
5	暮らしの衛生推進事業	拡充	1,666	1,636	30	生活衛生課	5
② いきいき暮らせるまち			21,734	25,637	△ 3,903		
6	健康たうん・みどり推進事業		2,586	4,004	△ 1,418	福祉保健課	7
7	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業		5,877	7,798	△ 1,921	福祉保健課	8
8	あんしん子育てネットワーク事業	重点・拡充	7,998	7,523	475	こども家庭支援課	8
9	保育所すこやか子育て支援事業		2,367	2,717	△ 350	こども家庭支援課	10
10	DV対策・児童虐待防止事業		645	645	0	こども家庭支援課	10
11	青少年地域サポート事業		1,373	1,479	△ 106	地域振興課	11
12	高齢者生きがい推進事業		463	475	△ 12	高齢・障害支援課	11
13	障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業 【前年度:障害者自主製品販売支援事業】	拡充	425	395	30	高齢・障害支援課	11
△	地域のささえ愛事業		0	449	△ 449	高齢・障害支援課	
△	高齢者あんしんサポート推進事業		0	152	△ 152	高齢・障害支援課	
③ みどりの魅力あふれるまち			58,477	58,310	167		
14	花と緑あふれるふるさと緑区事業	重点・拡充	5,000	2,500	2,500	土木事務所	13
15	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業		4,600	5,000	△ 400	土木事務所	13
16	みどり！まるごと応援事業	拡充	5,148	4,064	1,084	区政推進課	13
17	みどり地域まちづくり推進事業		2,348	2,928	△ 580	区政推進課	14
18	子どものまちづくりイベントMini Mini Midori		3,500	3,500	0	区政推進課	15
19	アートによる緑区の魅力発信事業		5,000	4,500	500	区政推進課	15
20	みどり環境行動啓発事業		900	1,000	△ 100	区政推進課	15
21	読書活動推進事業	拡充	500	500	0	地域振興課	15
22	緑・芸術文化事業		2,361	3,611	△ 1,250	地域振興課	16
23	3R推進事業	拡充	2,258	2,147	111	地域振興課	16
24	きれいなまちづくり事業	拡充	2,498	2,318	180	地域振興課	17
25	緑区商店街振興事業	重点	3,169	2,810	359	地域振興課	17
26	区民まつり事業	拡充	5,600	5,400	200	地域振興課	18
27	地域振興事業		2,189	2,189	0	地域振興課	18
28	市民活動パワーアップ支援事業	拡充	3,462	3,572	△ 110	地域振興課	18
29	みどリスports振興事業		1,720	1,795	△ 75	地域振興課	19
30	広報・広聴事業		2,763	2,763	0	区政推進課	20
31	区民から親しまれる区役所づくり事業		5,461	5,663	△ 202	総務課	20
△	身近で親しみやすい水辺環境づくり事業		0	1,600	△ 1,600	土木事務所	
△	魅力ある公園づくり事業		0	450	△ 450	土木事務所	
合計			97,618	97,919	△ 301		

令和3年度 個性ある区づくり推進費 予算総括表

[単位：千円]

区 分	R03予算	R02予算	増△減
1 自主企画事業 (31事業)	97,618	97,919	△ 301
(1) 安全・安心なまち (5事業)	17,407	13,972	3,435
(2) いきいき暮らせるまち (8事業)	21,734	25,637	△ 3,903
(3) みどりの魅力あふれるまち (18事業)	58,477	58,310	167
【重点事業】 4事業 予算額 24,034千円 ◆災害に強いまちづくり事業 7,867千円 * (1) で計上 ◆あんしん子育てネットワーク事業 7,998千円 * (2) で計上 ◆花と緑あふれるふるさと緑区事業 5,000千円 * (3) で計上 ◆緑区商店街振興事業 3,169千円 * (3) で計上			
2 統合事務事業費	44,487	44,418	69
(1) 統合事務費	24,743	24,695	48
(2) 統合事業費	19,744	19,723	21
3 区庁舎・区民利用施設管理費	597,723	580,353	17,370
(1) 区庁舎等	104,957	101,482	3,475
(2) 地区センター等	437,443	423,330	14,113
(3) 公会堂	41,625	41,878	△ 253
(4) 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,579	7,513	66
(5) その他(広場・遊び場)	6,119	6,150	△ 31
合 計	739,828	722,690	17,138

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

① 安全・安心なまち 17,407千円

1 災害に強いまちづくり事業【重点・拡充】 7,867千円

避難場所における感染症対策を充実させます。防災ネットワークや関係機関との連携強化、啓発・研修等を通じて、災害に強いまちづくりを区民と協働して推進します。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 区の災害警戒体制早期確立のため、災害時初動対応グループ研修を実施（4月9日）
- イ 災害時のコロナ対策を踏まえつつ、円滑に行動できるよう、区職員を対象に防災研修会と区本部訓練を実施（9月、1月）
- ウ 区職員に対する普通救命講習を実施し、緊急時における応急救護体制を確保（9月）
- エ 発災時、長時間の災害対策本部体制を確保するための資機材を購入し計画的な備蓄を実施（10月）
- オ 避難勧告等に速やかに対応できるよう、指定緊急避難場所への持ち出し品等の物品を拡充（6月 要援護者搬送用シート購入、9月）

(2) 地域防災拠点等強化事業

- ア 高齢者等要援護者の拠点用備蓄品（折り畳みマット）の購入
- イ 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕（全拠点7月、12月）
- ウ 地域防災拠点運営委員を対象とした資機材取扱講習
- エ 地域防災拠点運営委員会情報共有会の実施（2月）
- オ 運営委員を対象に拠点開設時の新型コロナウイルス感染予防対策研修を実施（7月）
- カ 拠点の訓練などをコーディネートする参与に対し、研修を実施（5月11日・12日）

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災講演会の実施及びオンライン配信（3月 緑公会堂）
- イ 防災ネットワーク運営委員会（4月8日）
- ウ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催

(4) 減災行動啓発事業

- ア ハザードマップ等を活用した小学生を対象とする減災マップ作りワークショップの開催
- イ コロナ禍でも現場の臨場感を体験できるように、小学校の新学習指導要領の改訂に合わせた、区役所の災害対策をまとめたDVDを学校と連携して作成
- ウ 小学校低学年を対象に、防災・減災へ興味を持つ入口として、出前防災講話を実施
- エ マイタイムライン等を活用した減災行動の啓発や、コロナ禍での在宅避難・避難場所以外への避難啓発の実施

(5) 緑区防災計画「震災対策編」の修正

市防災計画の修正に伴い、区防災計画を修正し製本化

(6) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練等の実施
- イ 保健活動グループの訓練の実施

(7) 霧の里防犯防災活動センター運営

(8) 区民防災マップの増刷

(9) 新型コロナウイルス感染症対策事業【新規】

新型コロナウイルス感染症対策として、各拠点に簡易型のテント（6基）及びベッド（2基）を購入

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

2 安全・安心まちづくり推進事業

1,820 千円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行います。

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

ア 総会の開催（5月20日）【書面開催】

イ 活動内容

（ア）防犯パトロール物品等の提供

（イ）啓発活動

a 振り込め詐欺防止等キャンペーン

（駅頭キャンペーン、イベントでの防犯キャンペーン、啓発チラシ作成・配布等）

b 区民まつり出展（防犯パネル展示、防犯啓発グッズ配布）

(2) 振り込め詐欺被害防止事業

区内高齢者を対象とした、簡易型自動録音機の配布（10月）

(3) 情報提供・啓発の充実

ア 緑区防犯情報メールの配信

緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで配信

イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発

ウ 広報よこはまへの啓発記事（振り込め詐欺防止）掲載

エ 子どもの安全を脅かす事件の発生時の連絡体制の充実

情報を必要としている施設（特に未就学の子どもたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信

3 交通安全対策事業

3,554 千円

緑警察署及び緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進します。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発を重点的に取り組みます。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

ア 総会の開催及び功労者表彰（4月20日）

【総会は書面開催、功労者表彰式は人数を絞って開催】

イ 幹事会の開催（4回）（第1回：5月21日）

(2) 交通安全運動推進

ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）

（ア）春の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（4月6日）

（イ）夏の交通事故防止運動（7月）

（ウ）秋の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（9月 交通安全緑区民大会）

（エ）年末の交通事故防止運動（12月）

イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発

（ア）駅前及び交差点での啓発（5月7日 雨天により中止）

（イ）登校時の高校生への啓発（5月14日 白山高校、18日 霧が丘高校）

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(ウ) 自転車駐車で啓発 (6月 区内4駅自転車駐車場)

ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行 (3月)

(3) 交通安全教育・対策

ア 高齢者交通安全教育・対策

(ア) シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催 (4回)

(イ) 高齢者向け交通安全教育 (交通安全シルバーリーダー研修会) の実施 (1月)

イ 児童交通安全教育・対策

はまっ子交通あんぜん教室 (児童交通安全教育) の実施 (6~7月 区内4小学校)

ウ スクールゾーン対策

(ア) スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施 (4月)

【研修会は中止し、代替として資料送付】

(イ) スクールゾーン対策協議会への助成

(ウ) 電柱巻標識、路面標示の新設・補修

(エ) 横断旗等の配布 (1月)

(4) 放置自転車対策

ア 自転車等放置防止対策協議会の開催 (7月 区内4駅)

イ クリーンキャンペーンの実施 (10月 区内4駅)

4 交通安全施設等整備事業【新規】

2,500千円

「安全・安心なまち」の実現のため、生活道路やスクールゾーンを中心とした、市民生活に密接した箇所における歩行者の交通安全対策を推進します。

(1) 交通安全施設等整備事業

ア 日常の陳情やスクールゾーン対策協議会等による交通安全対策に関する要望の集約 (4~7月)

イ 交通安全対策実施箇所の選定 (7~8月)

ウ 交通安全対策

区画線の新設・補修、あんしんカラーベルトの補修等の実施 (8月~3月)

5 暮らしの衛生推進事業【拡充】

1,666千円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を図ります。

また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施します。

(1) 食品衛生普及啓発事業

ア 飲食店の営業者及び調理従事者並びに区民に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施

広報よこはま (8月号) 及び子ども向けイベントや小学校への出張講座等を活用した、子どもを対象とした食品衛生知識の普及啓発の実施 (8月) 【新規】

イ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施
食中毒予防キャンペーン (8月)

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

ウ 高齢者施設や保育所等に対して正しい手洗いやおう吐物の処理方法等ノロウイルス食中毒予防講習の実施（10月）

エ 衛生管理が優れた区内飲食店施設等（秀級施設）の紹介、ステッカーの配付（1月）、HACCP（ハサップ）の導入支援、改正食品衛生法の内容周知

（2）人と動物との共生事業

ア 犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発

（ア）飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施（11月）

（イ）窓口での適正飼育啓発チラシ等の配布

イ 動物愛護普及啓発

区役所イベントスペースでのパネル等展示（8月）

（3）安心・快適な暮らし推進事業

ア 暮らしの中の虫相談

虫の日（6月4日）にあわせ、衛生害虫啓発の展示（6月）

イ アシナガバチ等駆除器材の貸出し

（4）災害時に備えた衛生啓発事業

ア 災害時のペット対策啓発

（ア）災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳（安心手帳）」の配布

（イ）ペット同行避難に関する市民啓発講演会の開催（6月26日）

（ウ）地域防災拠点でのペット同行避難訓練の実施、ペット用非常持出品等の展示・紹介、緑区獣医師会との協働による発災時対応の啓発及び飼い主グループの把握と情報提供

イ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等の啓発

（ア）保健衛生ポスターの活用啓発

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

② いきいき暮らせるまち 21,734千円

6 健康たうん・みどり推進事業 2,586千円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防及び健全な食生活の実践に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、地域の団体や保健活動推進員、食生活等改善推進員等の関係機関と協働で啓発に取り組みます。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりを行います。

(1) 健康づくり月間事業

健康づくり月間イベントとして、区民まつりにおける健康チェック、健康相談、野菜摂取促進等の事業を健康に関連する団体と協働して実施（10月）

(2) 思いやり健康づくりの日事業

ア 健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発等を含む）の実施（7回）

【5・6月は中止】

イ 食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施（4回）【4～6月は中止】

(3) 健康たうん・みどり事業

地域における自主的な健康づくり研修会の実施を支援

(4) みどり食育実践推進事業

ア 食育月間・食育の日キャンペーン

(ア) 食育月間キャンペーン（イベント及びパネル展）

食育月間（6月）に合わせ、体験型食事診断、野菜をもっと食べようキャンペーン、歯みがき相談、健康チェックを実施

(イ) 食育の日キャンペーン

食育の日（毎月19日）に合わせ、体験型食事診断、歯科チェック等による食育啓発を実施（3回）

イ 食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用した体験型食育講座を実施

ウ 緑をたっぷり召し上げれキャンペーン

食生活等改善推進員と協働で野菜摂取量促進キャンペーンを実施（4回）（6月は食育月間キャンペーンと同時開催）

エ 平常時から考える食の備蓄

災害時に備えた食の備蓄の重要性を啓発リーフレット等で周知

(5) 若年層の生活習慣病予防講座

生活習慣改善の意識を持ちにくい子育て世代等の若年層を対象に、子育て支援拠点等の対象者が集う地域の場で、生活習慣病予防の動機づけを図る講座を実施（5回）

(6) 体験型がん啓発事業

がんの触診モデル等の使用・展示による幅広い対象に向けた体験型がん検診啓発を実施

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業

5,877千円

身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進・策定します。

また、ひとり暮らし高齢者等に対して見守りや訪問を行っている民生委員・児童委員の活動を支援します。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

2年度に新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催することのできなかった地区別計画推進策定委員会を開催するなど、第4期計画の策定を引き続き進めます。

ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会の開催（8月、12月 2回）

イ 地区別計画推進策定委員会の開催

（11地区で各2回以上開催（6～7月、10～12月））

ウ 地区別計画代表者連絡会の開催（5月28日、10月 2回）

エ 第4期計画策定に係る広報印刷物の発行及び啓発講演会の開催

オ 地区別計画の推進のための事業の実施

(2) 民生委員見守り訪問事業

民生委員・児童委員によるひとり暮らし高齢者等に対する活動を支援します。

ア ふれあいコールに対する助成

民生委員・児童委員が定期的に電話をかけて安否確認を行う「ふれあいコール事業」に対する助成を行います。

イ 民生委員活動マップの更新・作成

民生委員・児童委員が活動する担当地域の変更や住宅地図の変更に対応して当該マップを更新・作成し、民生委員・児童委員が活動しやすい環境を整備します。

8 あんしん子育てネットワーク事業【重点・拡充】

7,998千円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座、地域の子育て支援活動との連携、各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。

(1) 当事者への支援

ア プレパパ・プレママ教室

土曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児の知識を提供します。

（緑区役所 年12回、うち2回実施）

イ 赤ちゃん教室

0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催します。

（14か所の会場で各9回 計126回、うち22回実施）

ウ 歯つらつ1歳児

1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施します。

（1日コース年12回、うち2回実施）

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施します。（個別相談 15回、うち2回実施、スーパーバイズカンファレンス 1回）

(2) 子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

保育所、児童扶養手当等の繁忙期の個別相談や、乳幼児健診などでのきょうだい児の見守り保育を実施します。

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成します。（1団体）

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を行います。

エ 緑区子育て支援者事業

地域の協力を得て、親子で集い、交流や情報交換ができる場を作ります。

(3) 情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信します。（メールマガジン毎月1回配信）

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布します。（3月）

ウ 子ども・家庭支援相談パンフレット

区内の子育てに関する相談窓口案内をパンフレットに集約し、保育所、幼稚園、小中学校等に配布します。（7月）

エ 「みどりっ子カレンダー」

子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図ります。

オ 保育施設のご案内

保育施設の利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内（5月2,000部、10月3,000部）、よくある質問に答えるリーフレットを発行します。

カ 乳幼児健診情報提供

乳幼児健診時等に放映する、乳幼児健診の内容や子育て情報を伝える映像の内容を更新します。

キ 放課後事業情報提供

放課後児童クラブと放課後キッズクラブの事業や、区内の各クラブを紹介するパンフレットを作成します。

(4) 新型コロナウイルス感染予防対策【新規】

安心して各事業の実施が出来るように、消毒液等、新型コロナウイルス感染予防対策用物品を購入します。

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

9 保育所すこやか子育て支援事業

2,367千円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育施設等とのネットワークの構築を進めます。離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、授乳、おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」などを実施します。

また、「あつまれ！みどりっこまつり」を継続することでスタッフ・参加者のネットワークを拡充し、地域の子育て支援を推進します。

(1) ネットワーク事業

ア あつまれ！みどりっこまつり

未就学児とその保護者を対象に、公立園と民間園が協力し、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図ります。

イ 赤ちゃんの駅事業

授乳・調乳・おむつ替えができるスペースを市立保育所等に設置し、地域の親子に開放します。必要に応じて、保護者の育児不安等にも対応することにより、子育ての孤立化を防ぎます。

ウ 地域の子育て支援事業実施施設連絡会

地域の子育て支援事業実施施設が情報共有し連携を深めていくための連絡会を開催し、他施設の事例を共有することで、地域子育て支援の充実を図ります。

(2) 市立保育所での育児支援事業

ア 保育アドバイザー（保育士）派遣事業【4・5月中止】

地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びの紹介を行います。

イ 絵本の貸出【4・5月中止】

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出しや、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やします。

ウ 園庭開放の拡充

十日市場保育園、竹山保育園においても、育児支援センター一園（長津田保育園・鴨居保育園）と同等の週5日の園庭開放を実施し、子育て支援の充実を図ります。

エ 離乳食ランチ交流【4・5月中止】

調理員・保育士が離乳食の説明をしながら、親子に実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝えて、食に関する育児不安の解消につなげます。保育園以外の事業・相談窓口との連携を深め、効果的に事業を実施します。

(3) 市立保育所での地域交流事業

グリーンカーテンを作ることで地球温暖化に対する子どもたちの意識を育むとともに、地域の協力を得ながら、伝承遊びや花苗育成を通じて、高齢者と園児・地域の未就学児等との交流を図ります。

10 DV対策・児童虐待防止事業

645千円

DV被害者への相談の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行います。また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施します。

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(1) DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施 (月1回)

(2) 児童虐待防止事業

さまざまな課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修 (年2回)

11 青少年地域サポート事業

1,373千円

次世代を担う青少年の健全育成推進を目的に、環境づくり等、様々な取組を進めます。また、地域の青少年育成の担い手である市民活動団体等による活動に対して支援を行います。

(1) みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等による青少年育成活動支援

(2) 緑区青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

(3) 青少年地域サポート事業運営費

青少年育成に対してより良い社会環境の醸成に向けた啓発活動や地域交流支援

(4) 区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業

区内大学と連携し、主に中学生を対象とした体験講座等を開催します。

12 高齢者生きがい推進事業

463千円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進します。

(1) シルバーフェスティバル等の実施

ア シルバーフェスティバル (3月)

イ 囲碁・将棋大会 (12月)

(2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

13 障害者自主製品販売支援・障害理解促進事業【拡充】

425千円

【前年度：障害者自主製品販売支援事業】

障害者通所施設が行っている自主製品販売を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいづくりの場を充実させます。また、障害福祉についての啓発を通して区民の障害への理解を促進します。

(1) 共同販売の推進

区役所での共同販売の場の設定や販路拡大等を支援し、販売チラシ等を作成します。

(2) 商品の魅力アップ支援

商品 (自主製品) 及び受注作業の魅力を紹介する冊子「ミドリビト」 (R2年度作成) を増刷 (又は改訂) します。

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 障害理解の促進【新規】

12月の障害者週間に合わせた啓発イベントを開催します。(12月1～3日)
また、障害者向けに成年後見制度を案内するリーフレットを作成します。

③ みどりの魅力あふれるまち 58,477千円

14 花と緑あふれるふるさと緑区事業【重点・拡充】 5,000千円

緑区制50周年を記念して実施した住み続けたいふるさと緑区植樹事業を継承し、道路や公園などの緑化を進めるとともに、区民を対象とした花苗講座を開催することにより花と緑を主体的に育てるサポーターを育成し、花と緑あふれるまちづくりを目指します。

(1) 街路樹の補植【新規】

空き樹調査結果を踏まえ補植を実施（霧が丘長津田線及び周辺の路線）（8月～3月）

(2) 花と緑のサポーター養成講座

2グループに分けて実施（8回）

・第1回講座：5月7日・12日

・第2回以降：6月～3月

15 生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業 4,600千円

豊かな自然が残る梅田川遊水地等において、市民団体等と連携して在来種の保全及び生物多様性に配慮した施策を展開し、区民の環境保全の意識を高め、再発見した緑区の魅力を内外に発信します。

(1) 市民団体の連携づくり

梅田川水辺の楽校協議会などと座談会やワークショップを開催（6月～3月）

(2) 生き物観察会の実施

雨水調整池、親水広場、公園などで区民や児童を対象に実施（4回）

(3) 情報発信手法の検討

情報発信手法の検討・試行（6月～3月）

(4) リーフレットの作成（12月～3月）

16 みどり！まると応援事業【拡充】 5,148千円

緑区は、自然豊かで、歴史的な地域資源も数多く、横浜の臨海部にはない多くの魅力にあふれており、これらを横浜市全体の魅力として発信していきます。

区庁舎での農産物直売所の実施、地産地消の魅力を発信する動画の配信のほか、自然や歴史等の魅力を広く発信する「緑区遺産」登録制度等の取組を進めます。

あわせて、「地域のつながり施設設置事業」の実施を通じて地域の活動を応援します。

(1) とれたてみどり地産地消推進事業

ア 区庁舎直売所

緑区庁舎内における直売所での地元農産物の販売を通して、「農」の魅力をPRするとともに、「農」に対する理解を深めます。（毎週火・金曜日）

また、JA横浜と共催で実施している地場野菜の直売会を通して、生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作ります。（5月14日、6月11日、7月9日、10月8日、11月9日、12月10日 緑区役所）

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

イ 「農」の魅力動画配信

緑区の「農」や地産地消の取組をPRするため、地場野菜の収穫の様子や区内のよこはま地産地消サポート店によるレシピを紹介する番組の制作・放映及び緑区ウェブサイト等で定期的に動画を配信することで、より多くの方に臨場感あふれる「農」の魅力を伝えます。（2本配信）

ウ 飲食店における地産地消の促進

「農」に関する飲食店への情報発信や農家と飲食店との交流会、よこはま地産地消サポート店を巡るスタンプラリー等の実施により、よこはま地産地消サポート店登録数を増やし、飲食店の地産地消を進めます。

エ 地産地消情報発信

多くの区民に地産地消や野菜に関心を持っていただけるよう、広報よこはまみどり区版で地産地消コラムの連載、緑区ウェブサイトやフェイブック等での情報発信を行います。

オ 地産地消講座

畑での収穫体験等を実施することで、「地産地消」の取組を身近に感じてもらいます。（7月7日ほか1回）【6月5日は中止】

(2) みどり！魅力再発見事業

ア フォトアーカイブ事業

区内の記録写真を撮影し、2次利用できるようにWebサイトに公開します。緑区フォトコンテストを実施し、入賞・入選写真を2次利用できるように公開します。

イ 緑区遺産

区内にある歴史的な地域資源として登録された「緑区遺産」の登録証を発行するほか、地域の活動団体等による保全・活用を支援します。（5月末現在の登録数 20件）

また、緑区遺産を紹介する冊子を発行し、事業PRを図ります。

ウ ウォーキングマップを活用した地域資源の魅力発信事業【新規】

区内をウォーキングする方に区内の歴史や直売所など、様々な地域資源を紹介することで、より楽しくウォーキングをしてもらうとともに、区の魅力を発信するため、長津田歴史探訪マップや鴨居駅周辺の魅力マップ、直売所マップ等で掲載している情報を取り入れてミドリウォーキングマップを改訂します。

(3) 地域のつながり施設設置事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進します。

地域団体に空き地等は無償で利用してもらう一方、所有者に対し奨励金を支払います。

17 みどり地域まちづくり推進事業

2,348千円

平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施します。

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりについて、地域ごとの課題や取組に応じた支援を行います。また、新たな地区での支援についても、専門家派遣等により対応します。

(2) 山下地域交流センター活用等検討

山下地域交流センター（旧山下小学校木造校舎）について、歴史的な特徴を生かした施設活用や運営方法等の検討調査を行います。

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) みどころ案内サイン

既存のみどころ案内サインを点検し、必要に応じた改修を行います。

18 子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori

3,500 千円

次世代を担う子ども達がまちづくりに携わる楽しさを知るきっかけを作るため、子ども達が自らまちをつくり・運営するイベントを実施します。(11月6日・7日)

また、企画段階から参加し、イベント当日にはまちのリーダーとして活躍する子ども実行委員を公募します。(4月30日～5月21日、応募者69人のうち実行委員41人を決定(新規30人、経験者11人))

19 アートによる緑区の魅力発信事業

5,000 千円

視覚的・直観的な「アート」という表現手段を活用することで、子どもたちや地域の新たな担い手をはじめとする「次世代」にも、地域の魅力(自然、農、歴史、街並み等)を分かりやすく発信し、アートに触れる機会を創出するとともに、地域の活性化を図るため、アートイベントを実施します。(11月 山下地域交流センターほか)

20 みどり環境行動啓発事業

900 千円

地球温暖化対策等に関する啓発のため、講演会等のイベントを実施します。(2月) イベント開催に伴う3密を避けるため、聴講者の人数制限やオンラインを活用します。

また、ワンウェイ・プラスチックの削減を目的として、店頭啓発やパネルの巡回展示を行います。

21 読書活動推進事業【拡充】

500 千円

「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるように、緑区の地域性を生かした取組を進めていきます。

(1) 赤ちゃんからお年寄りまで本に親しむ環境づくり

ア 青少年向け読書啓発事業【新規】(9月)

イ 区民まつりにおける読書啓発イベント「かえっこ BOOK(本の交換会)」

ウ 緑図書館におけるCDブック貸出事業

エ おはなしネットワークとの連携

(2) ボランティアの育成

中高生図書館ボランティア体験事業(8月5日)

(3) ネットワークを活かした家庭・学校での読書活動の推進

地区センター等における赤ちゃん絵本セット貸出事業

(4) 区の特성에応じた読書活動の推進

読書活動推進連絡会開催、「読書まっぷ(読書活動推進目標記載)」配布、まちライブラリー支援事業 等

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

22 緑・芸術文化事業

2,361千円

緑区の芸術文化活動の更なる振興を図るため、区民が身近な地域で良質な芸術文化に触れられる活動支援や、芸術文化活動に携わる人材の育成・交流の機会提供を行います。

また、区内芸術文化団体や学校と連携してオリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組めます

(1) 緑・芸術祭事業

ア 区内芸術文化団体の事業に対する支援

(ア) 「緑区民音楽祭」(緑公会堂等)

安価で質の高い演奏会の開催、若手新人演奏家発掘のためのオーディション等

(イ) 「緑区コーラスのつどい」(11月 緑公会堂)【中止】

(ウ) 「創造と森の声 2021」(里山ガーデン及び横浜動物の森公園植物公園予定地)

・第1回 4月25日～5月5日 約450名来場

・第2回 9月19日～10月17日

イ 区が主催する事業

「サークルミニギャラリー」(4回 緑区役所)

ウ 緑区民文化センターとの連携事業

「お昼のロビーコンサート」(4回 緑区役所)

エ 公募事業に対する支援

(2) 交流と人材育成

芸術文化活動に携わる人材の交流・育成を図ることを目的として「提案型ロビーイベント」を募集し、場の提供等を通じて自主的・自立的な活動につながる支援をします。(年4回 緑区役所)

また、区内文化活動団体に対する舞台技術レベルアップ講座を開催します。

(3) Art Trainでオリパラ応援事業

県立白山高校美術科と連携し制作した、オリンピック・パラリンピックをテーマにしたアート作品をグリーンライン車輻内に貸切展示し、芸術文化の面から盛り上げていきます。(7月6日～8月2日)

23 3R推進事業【拡充】

2,258千円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、「食品ロス」・「プラスチックごみ」削減の啓発に重点的に取り組み、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開していきます。

(1) みどり環境行動推進協議会の運営

みどり環境行動推進者表彰式の開催(5月20日)【協議会は書面開催】

(2) 3Rの普及・啓発

ア 小中学校・保育園等への出前講座の開催

イ 店頭キャンペーン(4回)

ウ 各種イベントや地域のまつり等での啓発

エ 広報よこはま緑区版などを活用した啓発(4月)

オ 緑ECO通信の自治会班回覧(7月、12月)

カ 転入者向け啓発・分別相談(4月、3月)

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

キ 不要品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運営・管理

ク フードドライブの推進【新規】

区役所、資源循環局緑事務所、地区センターにおいて、食品回収ボックスを常設し、各家庭で使い切れない未使用食品等を集めて、緑区社会福祉協議会等に提供します。

24 きれいなまちづくり事業【拡充】

2,498千円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開します。

(1) 花いっぱい活動事業

季節の花苗を沿道に植栽（5月8日・20日、11月）

(2) 地域ふれあい活動事業

ア 地域清掃活動団体への支援

イ 不法投棄対応

(3) 駅さわやか活動事業

ア 中山駅周辺及び区庁舎周辺の清潔保持

(ア) 中山駅周辺における地域住民・商店街・事業者による早朝清掃を実施（11月）
【5月は中止】

(イ) 区職員による区庁舎周辺早朝清掃

イ 駅周辺でのポイ捨て禁止キャンペーンの開催（6回）

中山駅（6月、11月）周辺早朝清掃と同時実施

長津田駅（6月）、鴨居駅（6月）、十日市場駅（6月、11月）

ウ 若者を中心とした区民と行政の協働による美化活動【新規】

25 緑区商店街振興事業【重点】

3,169千円

消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援し、大型店にはない商店街ならではの“魅力”を地域の消費者に再発見してもらうことで、集客力を高め地元商店街の活性化につなげていきます。

(1) 「緑区商店街ポイントラリー」

各商店街が持つ地域に根差したサービスや商品を消費者に伝えるとともに、消費者が商店街に足を運んで地元商店街の魅力を再認識してもらうことを目的に、区内7商店街が一体となって企画運営して開催します。（秋季）

商店街と引き続き連携しながら、賞品構成、参加店舗数などを一層充実させて実施します。

(2) 「商店街 Special Week」

区内7商店街にキャッチコピーと魅力ある写真をちりばめたポスターを制作し、区役所、駅等公共スペースに掲出するとともに、広報紙の活用やマスメディアと連携してPRし、活性化につなげます。2年間で7商店街を一巡します。

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

26 区民まつり事業【拡充】

5,600 千円

区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代間を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、さまざまな世代の参加する「緑区民まつり」を県立四季の森公園で実施します。

開催に向けて、緑区民まつりPRのためのポスター、リーフレットを作成するとともに、会場内での新型コロナウイルスへの対応を適切に図ります。

27 地域振興事業

2,189 千円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切にし、地域との良好な関係を構築します。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、感謝会を開催し、永年在職の自治会長に感謝の意を表します。

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催

自治会長感謝会を開催し、自治会長5年在職者に区長から感謝状を贈呈します。なお、10年以上の自治会長については5年毎に、横浜市自治会町内会長永年在職者表彰式で市長から表彰します。(3月)

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付します。

(3) 自治会加入促進の支援

自治会加入に向け、地域の実情に合わせた加入促進を自治会と連携し進めていきます。

28 市民活動パワーアップ支援事業【拡充】

3,462 千円

市民活動や地域活動の一層の活性化を支援するため、緑区市民活動支援センター「みどり一む」を拠点として、みどり一む運営委員会(5つの部会で構成)との協働により区民主体で事業を企画・実施するとともに、未来のみどり一むを考える「みどり一むネクスト」における取組を引き続き進めます。

また、地域で新たに始まる公益的活動に対して、補助金を交付します。

(1) 市民活動セミナー等の開催

ア 市民活動セミナー(2回)

イ 地域福祉セミナー(1回)

ウ 防災・減災講座(2回)

エ ちょっと先生の夏休み子ども体験講座(8月22日・23日)等

(2) 市民活動団体交流事業の開催

ア Open!みどり一む(7月18日、10月、2月)

イ みどり市民活動交流会(9月)

ウ みどり一むまつり(3月)

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

エ サロンふらっと（隔月第3日曜日）【4月は中止】

(3) 生涯学級及び家庭教育学級事業の開催

ア 生涯学級

(ア) 横浜線ものがたり（9～11月）

(イ) 自然を楽しむ講座（10～11月）

(ウ) 家庭教育学級ほか2学級程度

イ 生涯学習グループ交流会・研修会

(4) 緑区地域施設間連携会議

ア 緑区地域施設間連携会議（2回）

イ 施設間連携研修会の実施（1回）

(5) パソコン相談コーナーの運営（緑区市民活動支援センター）

ア 「めだかの学校」の設置・運営

（緑区市民活動支援センター 毎週火・木・土曜日）

イ パソコン初心者対象の講習会「めだか塾」の開催（年12回）

(6) IT講習会の開催（各地区センター）

スマートフォン講習、オンライン講習等（年12回）

(7) 緑区地域課題チャレンジ提案事業スタートアップ【新規】

新たな公益的活動に対する補助金の交付（4月、5件）

29 みどりスポーツ振興事業

1,720千円

区民が主体となって運営するスポーツ振興団体やスポーツ振興イベントの支援を行い、また、気軽にスポーツ文化に楽しむことができるイベント等を区としても実施し、区民がより健康で多様な豊かな暮らしができる環境づくりを進めます。

(1) 緑区体育協会事業

加盟する団体等の各種大会やスポーツ振興活動に対する支援

(2) みどりスポーツフェスティバル

緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区体育協会の3者による、誰もが気軽にさまざまなスポーツを楽しむことができる総合スポーツ体験型イベントを支援（緑スポーツセンター）

(3) みどりスポーツ振興事業（オリンピック・パラリンピック推進事業）

ア 「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催、またその終了後を見据え、区民がアスリートや新たなスポーツ競技を身近に感じる機会の提供や、スポーツ文化を通じた多様な社会の実現や理解促進を目指した取組を実施（年2回程度）

・第1回 1964年東京パラリンピック映像上映イベント（6月26日 アートパーク）

イ 緑区ランニングフェスタ2021の開催（12月）

ウ 横浜DeNAベイスターズによるキッズベースボールフェスティバル（11月）

令和3年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

30 広報・広聴事業

2,763千円

区民の生活に役立つ情報や、区政・市政に関する情報を届けるため、区民生活・防災マップを作成するほか、緑区ウェブサイト等を活用し、様々な広報活動を実施します。

また、区民ニーズを的確に捉え、区政・市政に反映するため、「緑区役所意見箱」などの広聴活動を通し、区民からの意見・要望・提案等を把握します。

(1) みどり区民生活・防災マップ事業

みどり区民生活・防災マップ及びバスマップを発行します。

(2) 広報発信力アップ事業

迅速に情報が提供でき、かつ人との接触が避けられるウェブサイトの長所を活かし、緑区ウェブサイト等のほか、民間広報媒体とも協力して広報を行います。また年1回、職員向け広報スキルアップ研修を実施します。

(3) 緑区役所意見箱運営事業

緑区役所庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案をいただき、区民満足度の向上や区政の合理的な運営を図ります。

(4) 緑区「ふれ愛トーク」の開催

緑区内で地域活動を行う団体と区長が活動内容等について意見交換します。実施したふれ愛トークは、その概要を広報よこはまやホームページ等で紹介していきます。

(5) 駅PRボックス活用事業

区内の駅（6か所）のPRボックスに広報よこはま区版の特集ページの掲出、区の事業に関するチラシを配架します。（毎月1日、10日）

31 区民から親しまれる区役所づくり事業

5,461千円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の待遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への「気づき」の場として、職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、表彰を行います。

(1) 待遇向上等研修事業

職員に対する研修を実施し、窓口接客スキルの向上を図ります。（10～11月）

(2) 人権啓発・職員研修事業

偏見や差別を自分自身の問題としてとらえ、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、職員向け人権啓発研修等を実施し、職員の人権意識向上を図ります。

(3) 緑区表彰事業

緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、表彰を行います。

(4) 緊急的課題への対応

新型コロナウイルス感染症対策など緊急的課題に対応するとともに、区民の方がより利用しやすい区役所となるよう窓口環境等の整備を行います。

また、来庁者に快適に過ごしていただけるよう庁舎の美化・緑化を進めます。